

# まちを愛し、未来を創るひとづくり

～ふるさとを愛し 心豊かに たくましく羽ばたく日野の子の育成～  
(地域学校協働活動の取組から)

日野町では「まちを愛し 未来を創る 人づくり」を基本理念、「ふるさとを愛し 心豊かに たくましく羽ばたく日野の子の育成」を教育目標に掲げ、取り組んでいます。教育振興基本計画の具体項目のひとつに、CSと地域学校協働活動の一体的推進による、地域とともにある学校づくりを掲げています。保小中高が連携した取組、地域と一体となった取組、地域が抱える課題をみんな考え、まちが一体となって主体的に取り組める滑動の推進を目指しています。



## 【鳥取県立日野高等学校との交流活動】



町内小学校の各学年は、ジャガイモの定植・収穫、サツマイモの定植・収穫、田植えに田おこし、脱穀に収穫など、年間を通して日野高校との交流活動を行っています。年末には黒坂小学校で、お世話になった高校生を招待した「ふれあい感謝祭」を毎年行っています。また、日野高校との交流活動は、中学校も家庭科の授業で「調理交流」等も行っています。

専門的に学ぶヒューマンケア系列の生徒さんと交流し、その巧みな技を、交流を通して学んでいます。それぞれの交流活動の中で、キャリアモデルのその姿をしっかりと目に焼き付け、たくましく育つ日野の子の育成を目指します。



## 【地域の達人・地域の先生に学ぶ】



地域にはその道の達人、先生がたくさんいらっしゃいます。日野町の自然の事なら何でも知っている神庭さん(左)。この日は、世界最小のトンボ「ハッチョウトンボ」の観察会。この場所も、地域の方々の手で守られ続けています。長年地元でクリーニング店を営む佐々木さん(右)。まち探検で訪問しました。お店の前はよく通るけど、中には入ったことのない児童たち。たくさんある大きな機械などを回し続け、まちの人たちの生活

を支えていらっしゃいます。日野町の特産、シイタケ栽培を手掛ける廣瀬さん(次頁)。ほだ場では、約3000本の原木を管理されていました。給食にも出てくる廣瀬さんのシイタケ。シイタケに込める廣瀬さんの思いを感じるひと時でした。その他にも、多くの方々が子どもたちの活動に関わってくださっていたり、





活動を計画してくださったりしています。自分たちの町なのに、知らなかったこと、知らなかった場所、初めて目にするもの、初めて感じたその思いなど、学ぶことがいっぱいです。まちの自然や仕事、特産品を守る地域の方たち、たくさんの「もの」や「こと」を新たに知ったり、たくさんの方々の「思い」を知ったり…。これまで以上にまちを知り、まちを愛し、大切にしようとする日野の子の育成を目指します。

### 【子どもたちの頑張る姿は、まちを元気に！】



町内の小中学校で行われるマラソン大会にも地域から多くのボランティアが参加してくださいます。コースの安全見守りは勿論ですが、コースをまち中に設定している所では、子どもたちがまち中を走れば、いつもは静まり返った人通りの少ない通りにも、たくさんの地域の方々が拍手と声援を送ってくれます。閉会式では、地域の方が子どもたちにメダルを贈呈する場面も…。子どもたちが懸命に頑張る姿は、まちを元気にしてくれます。



### 【みんな笑顔のまちづくり～はるかのヒマワリ絆プロジェクト】



日野高校から町内各所に「はるかのヒマワリ絆プロジェクト」という活動が広げられました。地域学校協働本部ではヒマワリ畑の計画を立ち上げ、地域の方々、児童一緒になって苗植えに取り組みました。定植後、地域の方々が定期的に畑の草刈りや耕耘、支柱立てや水やりなどにあたってください、この初秋、畑には一面のヒマワリが開花。学校もまちも、笑顔で包まれました。今後は種を収穫し、来年の活動に繋げていけたらと考えています。



※日野町コミュニティ・スクール&地域学校協働活動の取組については、Facebookでも紹介しております。是非ご覧ください。(右QRコード)

